

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日本共産党

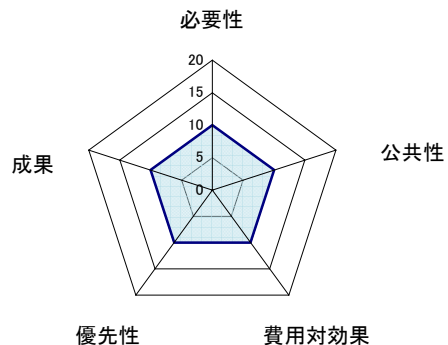
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
12	土木費	公園整備事業	949

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	緑を大事にしようという市民の思いは高いものがある。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ○ ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	10	緑の保存のために市民からの寄贈などもあるが、最終的には市が責任をもつべきである。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ○ ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	10	ともすれば高いものになることも考えられるが、費用がかかったとしても緑はまもらなければならないものである。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ○ ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	10	「緑か?」「くらしか?」となったときには、当然、「くらしを優先」すべきである。しかし、街の将来設計を考えるなどして、大きな視点でとらえた場合、どちらかといえば優先性がある。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ○ ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	10	これまで、着実に公園整備をおこなってきている。

2 全体評価（事前評価）

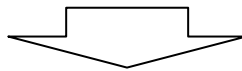
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
 全体のバランスからみると、市民のくらしより公園整備が優先されてきたが、今後は、市の財政力に見合った整備事業とすべきである。



第1次評価レーダーチャート

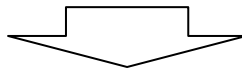
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	50	全体のバランスからみると、市民のくらしより公園整備が優先されてきたが、今後は、市の財政力に見合った整備事業とすべきである。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



4 決算審査における確認事項 (300字以内)

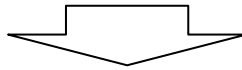
今後の温暖化防止対策、多くの多摩市民の認識からも、緑の確保は重要であるという立場にたつて質問をおこなった。しかし、今後計画にそって市が買いとりを続けていくことは困難であることも明らかになった。計画性のある買取、国および市の補助金の重要性、市民協働の力での維持管理をすすめることは今後の整備費のありかたとともに重要であることが明らかにされた。



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

市民的な認識でも緑の確保は重要である。しかし、多額の負担が必要であり、基本的な計画になっている「みどりの基本計画」も見直し時期になっている。環境基本計画や財政計画との整合性など十分な検討と見直しが必要である。管理にも4億円以上の財政負担が常に必要になっており、その面も含めた検討が必要である。



6 第2次評価(修正・今後の方向性)

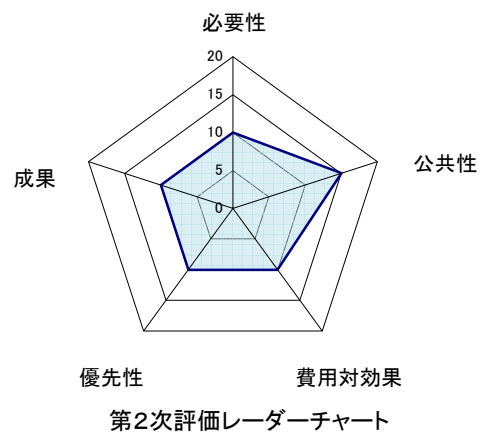
(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	55	10	15	10	10	10	緑の確保は重要であるが、市がすべてを買い取り、維持することには限界がある。また急な購入など市民的には不明瞭さが残ることもある。個人的な買取の約束など問題である。情報公開はきちんとおこなうべき。

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

緑に関する計画策定の中心になり、また財政計画をたてるのも「公」の役割であり、その位置づけは重要である。



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	5にも記載したとおり、「何を買ひ、何を見送り、何を民間の力に依存するか」など市民的コンセンサスを早急のままとめていくことが必要。

※特記事項(200字以内)

「公」の中止的役割は大きい、計画策定にあたっては、環境・植物・動物などの専門家の力を借り、また市民の声を大いに反映していくことが必要。管理には市民の力が重要。

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 公明党

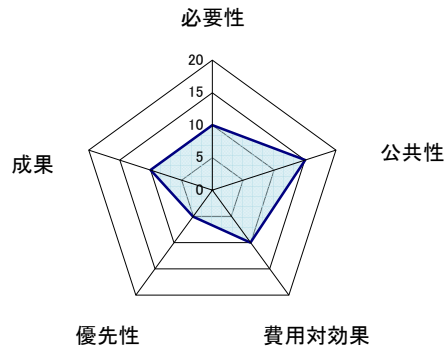
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
12	土木費	公園整備事業	949

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	緑地の確保は計画に沿って進めるべき。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ○ ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	15	
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ○ ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	10	極力、国庫支出金を活用することが必要。維持管理は市民協働による管理が望ましい。
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ○ ⑤優先性がない(0点)	5	土地所有者との関係から判断すべき。
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ○ ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	10	

2 全体評価（事前評価）

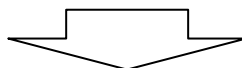
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
計画に則った取得と思うが、取得後の維持管理は極力費用を抑えることがのぞまれる。



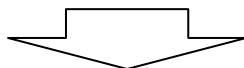
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
3	5 きわめて良好である 80点以上	50	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

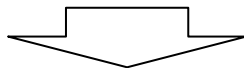


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



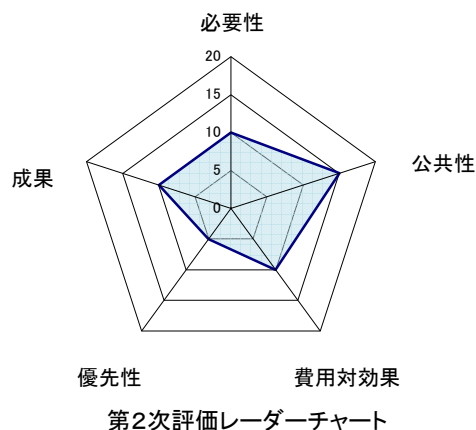
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	50	10	15	10	5	10	

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
4	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	公園整備後の維持管理の費用を極力抑えるやり方を検討すべきである。

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 多摩市議会自由民主党

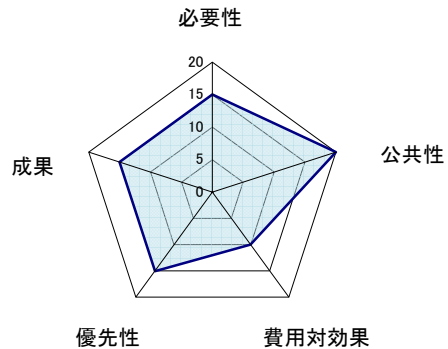
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
12	土木費	公園整備事業	949

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 20	多摩市政運営のコンセプトのひとつには緑との共生がある。一定の責任が必要に思う。
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	一部の市民からは、緑より人にお金をかけるべきではないかといった意見があることも理解すべき。強引な進め方は避けたい。
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 15	

2 全体評価（事前評価）

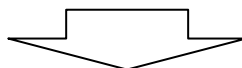
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
多額の財源を必要とするこの事業は、今後市民感情に配慮しつつ、さらに慎重に行っていくべきであろう。



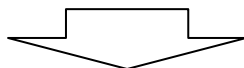
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	75	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

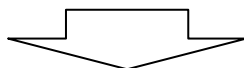


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



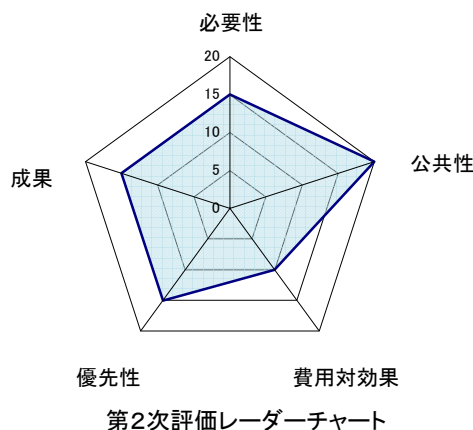
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	75	15	20	10	15	15	

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	多額の財源を伴う事業ゆえに、今後の慎重な議論は欠かせない。現在までの進め方を振り返ったとき、場当たりの判断といわれても仕方のない事案もある。もっと、この事業を進める上でのルール化を確立にすべきであろう。

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 改革ゆいの会

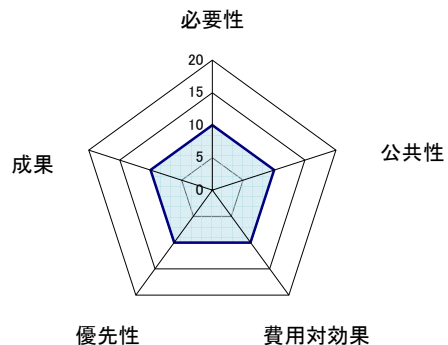
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
12	土木費	公園整備事業	949

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	市内の緑化率を総点検し、計画的に整備することが必要。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ○ ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	10	計画的な事業展開を。
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ○ ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	10	工事費、維持管理費の単価見直しが必要ではないか。
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ○ ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	10	用地買取りに際しては、公平・公正性が重要である。
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ○ ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	10	公園が市民の憩いの場として評価されるべき。

2 全体評価（事前評価）

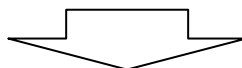
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
緑地保全の手法にも工夫が必要である。また、維持管理費についても、計画的に予算化必要だ。公園に指定されていても、荒れ放題の場所も見受けられる。



第1次評価レーダーチャート

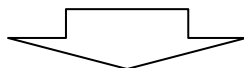
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
3	5 きわめて良好である 80点以上	50	総合的に判断した。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



4 決算審査における確認事項 (300字以内)

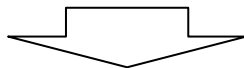
緑地保全を計画的に推進することに、異存は無い。



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

用地取得に際し、従前からの三分の一相当の国からの補助金は今後も期待できるのか。



6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

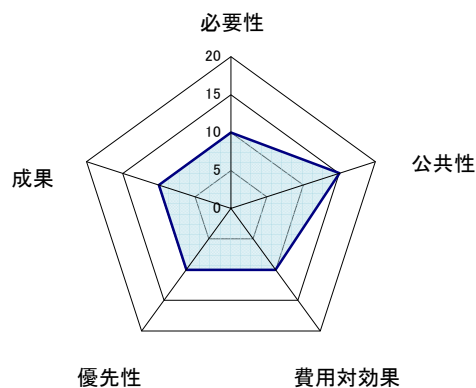
(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	55	10	15	10	10	10	

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

用地買取りに際し、地目別の適正な買取り価格のあり方など改善すべき課題も多い。国と都と更なる連携を図り、計画的に整備すべきである。地権者からの無償譲渡の申し入れに対しても、柔軟に対応すべきだ。



第2次評価レーダーチャート

(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	再度、総合的に判断した。

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名：生活者ネット・無所属の会

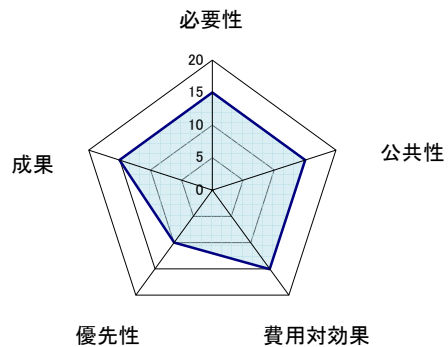
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
12	土木費	公園整備事業	949

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 15	
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 10	
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 15	

2 全体評価（事前評価）

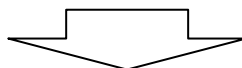
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
緑地保全として、市内に残った緑地を保全していくことは自然環境の面から有効性が高い事業であると考えているが、今後「みどりの基本計画」に示されている緑被率37%が確保されたのち、管理や保全をどのようにしていくのが大きな課題である。



第1次評価レーダーチャート

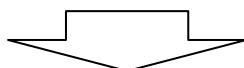
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	70	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



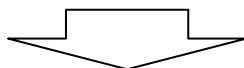
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

[Blank area for confirmation items]



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)
新政権が温室効果ガスの排出量を1990年比で25%削減すると宣言したことで緑地の効果が改めて見直される。



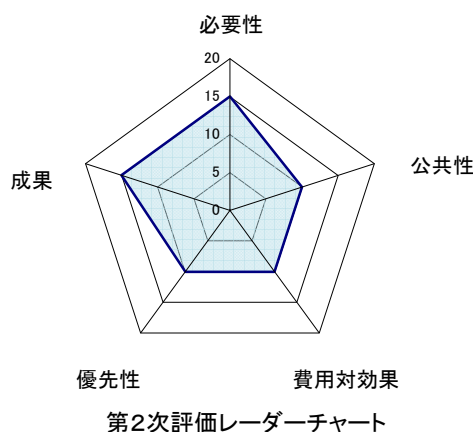
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	60	15	10	10	10	15	都心から帰ってきたときに緑があることでほっとする空間が保たれていることは多摩市の大きな特色である。

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
4	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	緑を守ることを否定する市民は少ないと考えるが、今後財政が厳しくなる中で新たな緑地の確保は慎重に行うべきである。また、取得した緑地の維持管理をどのようにしていくのかは大きな課題であり、現在の市民協働でのしくみも様々な課題を含んでおり整理していく必要がある。

※特記事項(200字以内)
生産緑地を守るためには、農地法改正の動きをみて企業やNPOが農業に参入できるしくみ等、農協や経済観課も含めて考えていく必要がある。

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 民主党TAMA

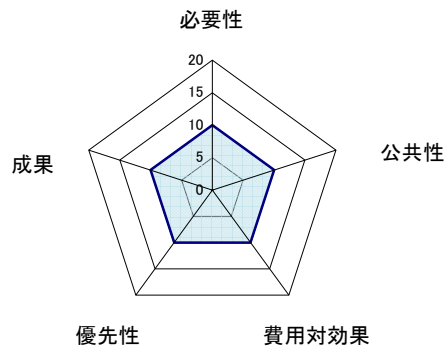
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
12	土木費	公園整備事業	949

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	都市空間に安らぎや潤いをもたらす公園、緑地を計画的に確保していくことは必要である。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ○ ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	10	公共空間の確保という視点からは、公共性が高い事業である。しかし、財政状況と今後の都市空間の設計との見合いにより、整備を進めていくべきである。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ○ ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	10	効果的かどうかについては議論が分かれるはずですが、即対応しなければならないかどうかは吟味すべきである。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ○ ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	10	優先性についても、即応しなければならないかどうかを吟味した上で判断されるべき問題。また、どの場所を確保していくのかについての優先度も市民に対し納得のいく責任をすべき。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ○ ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	10	「みどり」を増やしたという点では成果にできるのかもしれませんが、目標設定のあり方など再検討すべきである。

2 全体評価（事前評価）

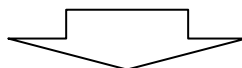
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
都市空間の創出において公園・みどりを計画的に配置していくことは必要であり、行政が進めていくべきことである。しかし、新たに緑地を増やすにあたっては、将来的な管理経費なども視野に入れながら慎重に判断すべきである。本来は行財政診断白書を作成した段階で、あらかじめ「みどりの基本計画」も再構築するべきであったが、そこに着手できなかったことの影響が表れていると受け止めている。



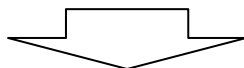
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	50	良好なみどりが保全できるかどうか課題になっている。また、緑地保全を公園整備事業に位置づけることはなじまない。また、みどりを増やしたわけではなく、みどりを維持したという位置づけで捉えるべきである。現状も緑地であり、市民にとっては「新たに増えた」とはならない。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

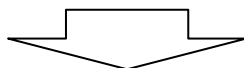


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



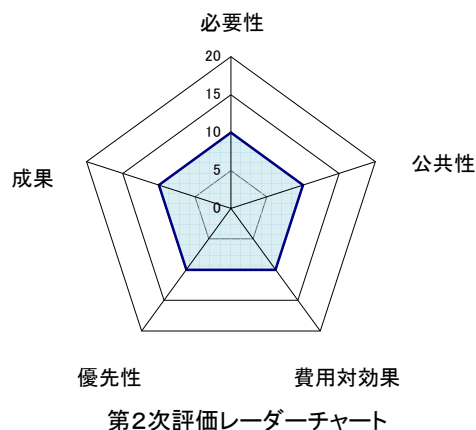
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	50	10	10	10	10	10	

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
2	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	事前評価どおり。みどりの基本計画そのものを再構築が必要である。

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： あおぞら

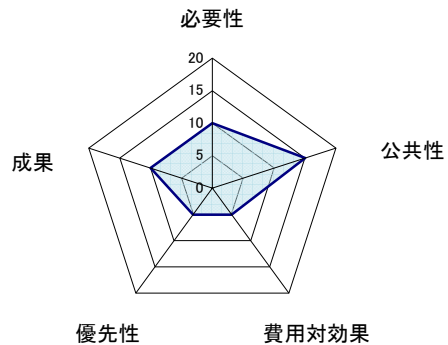
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
12	土木費	公園整備事業	949

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	緑の確保という点では、必要性はある。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ○ ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	15	公共用地取得という面では、公共性は高く、国との連携は重要である。
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ○ ⑤非効果的である(0点)	5	費用対効果は、不明確である。
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ○ ⑤優先性がない(0点)	5	今後の緑の確保について、不明確であり、優先性は判断できない。
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ○ ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	10	今後の維持管理が課題である。

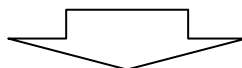
2 全体評価（事前評価）

全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
 必要性、公共性は大切と思うが、今後の維持管理等をしっかり考えていく必要があり、費用対効果・成果については課題が多い。



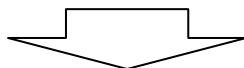
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	45	CO2削減については、適正であるが、費用対効果を考えてと検討が必要である。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



4 決算審査における確認事項 (300字以内)

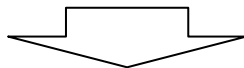
[Blank area for confirmation items]



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

[Blank area for social situation]



6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

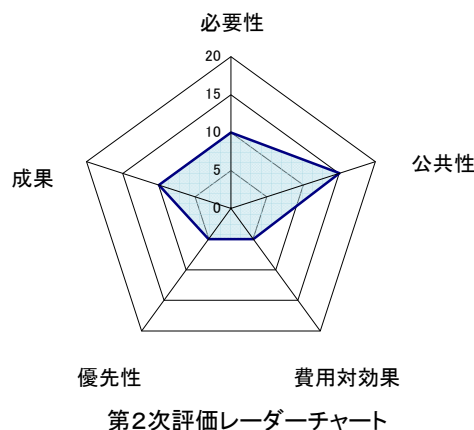
評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	45	10	15	5	5	10	[Blank area for overall evaluation]

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

厳しい財源の中、緑地の保全、維持管理を継続するには、一層の工夫が必要だと思えます。

[Blank area for evaluation comments]



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する	[Blank area for justification]
	4 現状のまま継続する	
	3 改善・効率化し継続	
	2 見直しのうえ縮小する	
	1 休止・廃止	

※特記事項(200字以内)

[Blank area for special notes]

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日月会

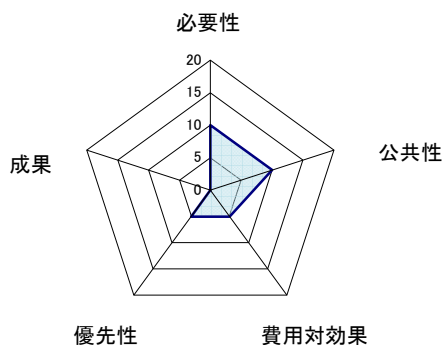
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
12	土木費	公園整備事業	949

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント(100字以内)
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ○ ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	10	
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ○ ⑤非効果的である(0点)	5	
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ○ ⑤優先性がない(0点)	5	
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点) ○	0	

2 全体評価（事前評価）

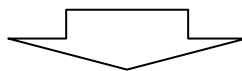
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



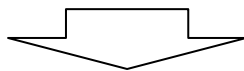
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
2	5 きわめて良好である 80点以上	30	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

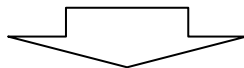


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



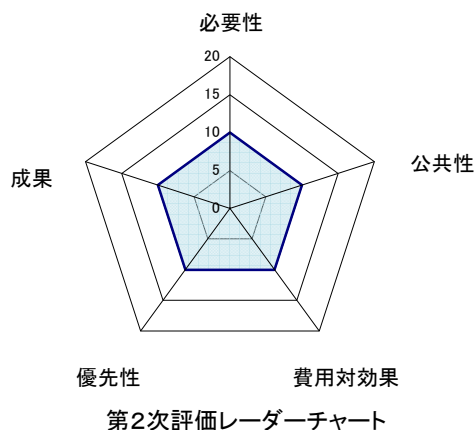
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	50	10	10	10	10	10	緑の保存は、現状の見直しが必要。

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	市内に残る緑地を含め、公園と緑の保全を計画的に進めるべきである。

※特記事項(200字以内)